

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆LNGやナフサ「日本へ最大限供給」 日マレーシア首脳が声明へ

・日本とマレーシア両首脳は会談し、液化天然ガス(LNG)やナフサ(粗製ガソリン)を日本に最大限供給することで合意する。中東の地政学リスクの高まりを踏まえ、中東以外の地域から資源を安定的に確保できる態勢を整える。高市早苗首相とマレーシアのアンワル首相が共同声明を発表する。LNGとナフサの最大限の供給を明記する。

◆4～6月0.5%成長に減速 民間予測平均、内需堅調も「中東」逆風

・日本経済に中東情勢の影響が一段と表れてきそう。民間エコノミスト10人に4～6月期の実質GDP(国内総生産)予測を聞いたところ、予想平均は前期比年率で0.5%増と1～3月期に比べて弱まるとの結果になった。1～3月期のGDP改定値は、物価変動の影響を除いた実質の季節調整値が前期比0.5%増、年率換算で1.8%増だった。

◆抗体投与もワクチン扱い、改正法案決定 RSウイルス予防で公費補助へ

・政府は特定の病原体に有効な抗体を直接体内に注入する抗体製剤をワクチンと同じ扱いとする予防接種法の改正案を閣議決定。成立すれば、新生児が重症化しやすいRSウイルス感染症向けに公費補助を検討。体内で病原体に対する抗体生産を促すワクチンと免疫をつくる仕組みが異なるため、現行法は抗体製剤を対象として想定していない。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆企業6割がカスハラ対策未実施 10月義務化、正当な訴えと線引き悩み

・顧客による迷惑行為「カスタマーハラスメント(カスハラ)」から、従業員を守る企業の対策が途上。防止条例を初めて制定した東京都の調査では対応指針などを設けていない企業は6割に上り、人手が限られる中小で進んでいない。正当なクレームとの線引きに悩む企業も多い。10月からは全ての国内企業に対し、カスハラ防止対策が義務付けられる。

◆工作機械受注、5月37%増 国内外でAI関連が活況

・日本工作機械工業会が発表した5月の工作機械受注額(速報値)は、前年同月比37%増の1768億円だった。プラスは11カ月連続。日工会の担当者によると「5月は例年、受注が大きく増える月ではない」といい、国内外で伸びるAI(人工知能)関連の需要が受注を押し上げている。海外受注は38%増の1317億円だった。

◆石油製品の供給、相談9500件 国交相「不安解消に万全」

・金子国土交通相は閣議後の記者会見で、中東情勢の悪化に伴うシンナーや燃料油の流通の目詰まりなどについて、住宅や建設事業者などから約9500件の相談があったと明らかに。「供給不安の解消に万全を期す」と語った。住宅や建設、自動車整備といった業界から「一部製品が入手しにくい」「納期が示されない」などの相談が寄せられた。

《 注目商品 》

■城東テクノ、簡単施工の出窓用リフォーム製品

・PaRenoシリーズに既存の出窓カウンターにかぶせるだけのリフォーム用出窓カバーをラインナップ。奥行450mmまでの出窓に対応。展開形状のためカットが平面上でおこなえるうえ、柔らかい樹脂製なのでカッターで簡単に加工できる。



■シャープ「プラズマクラスターエアコン<Rシリーズ>」

・2027年度を目標とする新省エネ基準を全機種で達成した、プラズマクラスターエアコン<Rシリーズ>8機種を発売。カビの増殖を抑制する「防カビカラッとファン」を新たに搭載。カビ対策として、業界で初めてファンに「超親水ナノコーティング」を採用。



■傷・汚れがつきにくい金属製手洗いボウル

・ミラタップは、PVDコーティングをほどこした金属製の手洗いボウル「ヴィゼラ」を発売。金属素材の特性を生かした薄型設計と、世界的なカラートレンドを反映した洗面空間のアクセントになる色合いが特徴。表面のPVD加工は、ナノレベルの薄膜で金属をコーティング。

